

2022/5/22 (日) ランニング大学 東京新緑マラニック with 山西哲郎 ウォーキングコースのレポートです。 鎮目

1) メンバー 5名

山西先生、山地先生、中村さん、福田さん、鎮目

2) コース 6.6キロ

有明スポーツセンター出て、富士見橋を渡り豊洲埠頭へ着いたら右に曲がって海沿いのぐるり公園を歩きます。

コースの概要です。ゴールは豊洲埠頭と晴海埠頭の間の旧晴海鉄道橋で、そこで折り返しました。



有明スポーツセンターを出発です。更衣室シャワーが完備されています。



豊洲埠頭に入ってぐるり公園を歩きます。後ろに江戸時代からの防波堤が見えます。緑の多いところです。



天気良く芝や新緑がきれい、芝の上でストレッチをしました。



ブラタモリで紹介された防潮堤、「止めるぞ高潮 守るぞ都民」に当時の心意気を感じます。



石川島造船所のドック跡、アーバンドックです。



石川島造船所の名残の錨など古い産業遺構がありました。



ドックのそばの小さな公園には小川があってメダカがいました。子供たちがはしゃいでいました。



ドック跡にある「アーバンドックららぽーと豊洲」のフードコートで昼食です。とても混んでいて賑やかでした。



海鮮丼は安くて美味しかったです。



旧晴海鉄道橋で折り返し



ららぽーとの抹茶カフェに寄りました。



山西先生は抹茶ラテ、山路先生は抹茶あんみつ、コーヒーショップよりおいしいと喜んでいらっしゃいました。



中村さんは煎茶であっさり、福田さんはぼた餅3つと抹茶セットをお召し上がりになりました。



私は抹茶ソフトです。どれも美味しくて大満足でした。我らシニアにはコーヒーより抹茶カフェがいいですね。

そのあとは、バスで豊洲駅前停留所から有明1丁目停留所に戻りました。有明1丁目停留所から有明スポーツセンターまでは徒歩3分くらいです。

3) まとめ

このコースを考えたきっかけは、プラタモリの豊洲特集を見て、歴史や産業遺構に関心を持ったことです。

元々関東大震災の瓦礫を埋め立ててできたとか、戦前は万国博覧会開催予定地だったとか、石川島造船所もあったとか、戦後は東京電力、東京ガスの工場、石炭置き場など戦後の復興を支えたとか、今の様子とはだいぶ異なっていたからです。

山路先生は歴史的なものにご興味を示されていました。

一方、山西先生は、豊洲の歴史や産業遺構より小さな子供連れや犬を連れた若い家族が多い活気ある新しい街に感動したみたいです。

確かに整備されたぐるり公園は綺麗なトイレもたくさんあり、ジョギンに最適、ショッピングセンターもあり食べるものも美味しくて、マラニックやウォーキングにはいいところでした。

中村さんはお病気をわずらっていて、ゆっくり歩いてました。今日はみんなと一緒にだったんでたくさん歩いて良かった。ひとりではなかなか歩けないと喜んでくれました。良かったです。

福田さんは楽しくお元気に歩いてぼた餅が美味しかったみたい。

鎮目